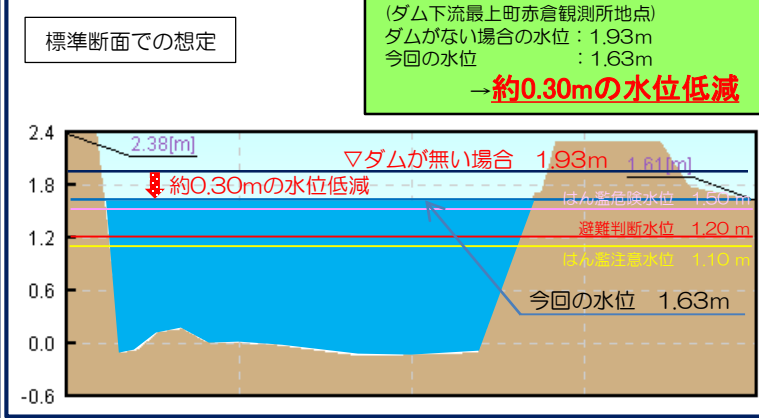
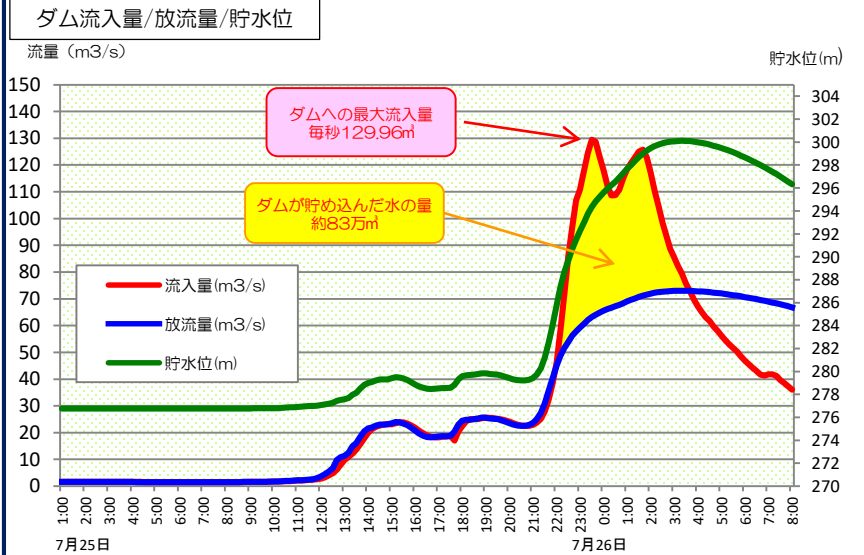
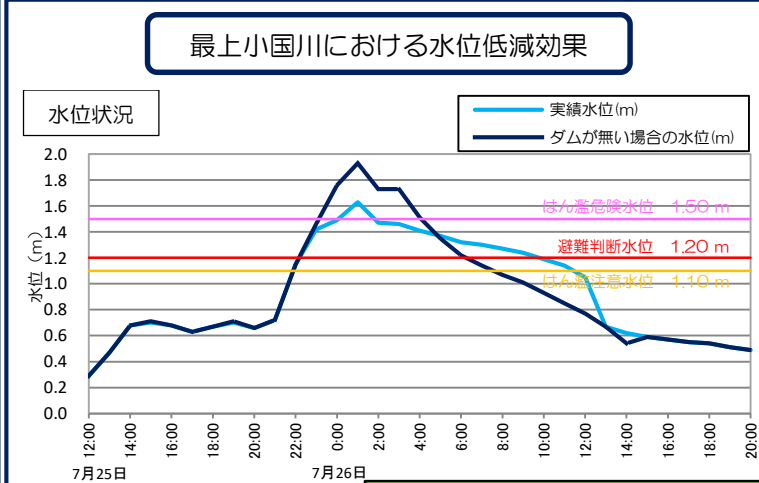
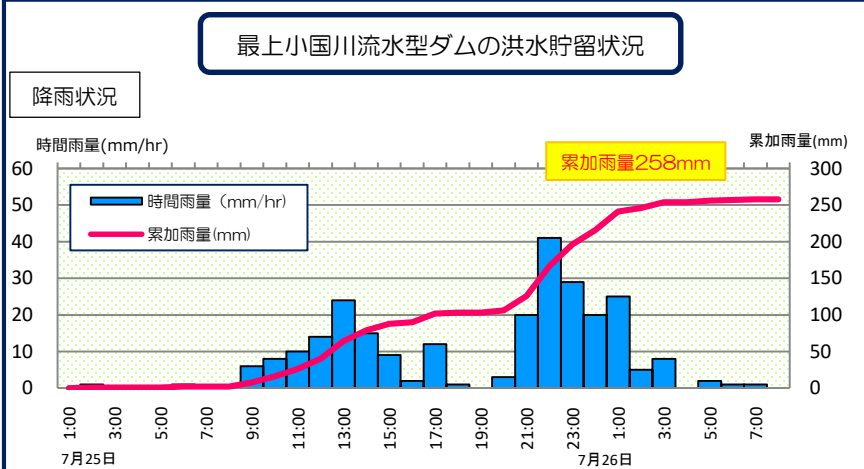


# 最上小国川流水型ダムの効果 (令和6年7月25日 梅雨前線による大雨) 山形県

- 最上川水系最上小国川の最上小国川流水型ダム地点において、7月25日1時頃から降り続いた雨は、26日7時までには累加雨量が258mmに達し、最上小国川流水型ダムでは最大毎秒129.96m<sup>3</sup>(7月25日23:34)の水が流れ込みました。
- 今回の洪水において、最上小国川流水型ダムでは約83万m<sup>3</sup>(※25mプール約2,300杯分)の水を貯め込み、下流河川の水位の低減を図りました。 ※25mプール:長さ25m×幅12m×深さ1.2m=360m<sup>3</sup>で換算した場合
- 最上小国川流水型ダムによって、ダム下流の最上町赤倉地点で約30cmの水位を低減させる効果があったものと推測されます。



問い合わせ先

山形県県土整備部河川課ダム担当 TEL 023-630-2618  
最上総合支庁建設部河川砂防課 TEL 0233-29-1413